

平成29年度 全国学力・学習状況調査における

北九州市立 浅川 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語, 数学)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語, 数学)

主として「知識」に関する問題(A)	主として「活用」に関する問題(B)
<ul style="list-style-type: none">・身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容・実生活において不可欠であり、常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能	<ul style="list-style-type: none">・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力・様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力

(2) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

(1) 全国・本市の学力調査(国語A・B, 数学A・B)の結果

本年度の結果	国語A		国語B		数学A		数学B	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	24.5	77	6.3	70	22.2	62	6.8	45
全国	24.8	77	6.5	72	23.3	65	7.2	48

(2) 本校の学力調査結果の分析

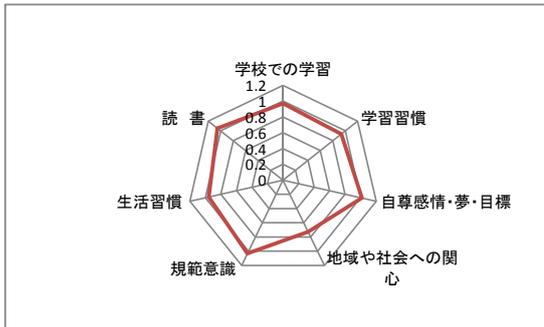
国語A	全体的な傾向や特徴など	・ほとんどの問題が全国平均よりも正答率が高くなっている。 ・文章に表れているものの見方や考え方について、交流を通して自分の考えを広くする問題について課題がある。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	・事実と考えを注意して文章を構成し話したり、書いたりする力が優れている。	
	努力が必要な問題	・文脈に即して漢字を正しく書くという点で無解答率が高くなっている。	

国語B	全体的な傾向や特徴など	・ほとんどの問題が全国平均よりも正答率が高くなっている。 ・記述式の問題で無解答率が高くなる等、表現力を問う問題に課題が見られる。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	・目的に応じて必要な情報を読み取る問題で正答率が高くなっている。	
	努力が必要な問題	・表現の仕方についてとらえ、自分の考えを書くという点で無解答率が高くなっている。	

数学A	全体的な傾向や特徴など	・ほとんどの問題が全国平均よりも正答率が高くなっている。 ・図形や関数の問題に課題がある。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	・資料を活用し、意味を読み取る問題で正答率が高くなっている。	
	努力が必要な問題	・図形や関数の問題で無解答率が高くなっている。	

数学B	全体的な傾向や特徴など	・ほとんどの問題が全国平均よりも正答率が高くなっている。 ・記述式の問題等に課題がある。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	・数学的な表現を事象に即して解釈し、適確に処理する問題で正答率が高くなっている。	
	努力が必要な問題	・問題解決の方法を数学的に説明する問題で無解答率が高くなっている。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」、「まとめ」について授業でほぼ徹底できてきている。 ・「振り返り」についてはかなり行われるようになってきているが、未だ課題がある。 ・思考を深める「発問」の工夫や、話し合い活動について課題が見られる。 ・家で、自分で計画を立てて勉強をすることについて未だ課題がある。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<ul style="list-style-type: none"> ・「わかる授業」づくり5つのポイント教員が常に意識して1時間1時間の授業を行う。 ・授業改善シートを有効活用し、特に「まとめ」「振り返り」「話し合い活動」をどのように授業に導入していくかを各教科担当で検討し、授業に取り組んでいく。
--

② 家庭生活習慣等に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級や学校だより等で学力向上と家庭学習のつながりについて多くの保護者に説明する。 ・「早寝・早起き・朝ごはん運動」「ケータイ・スマホ夜10時オフ」の取組を家庭と連携し積極的に進め家庭生活の重要性を訴えていく。
--